

日本ピア・サポート学会 第16回総会・研究大会（広島大会）のご案内

— ピア・サポートの過去、現在、そして未来へ —

御挨拶

日本ピア・サポート学会は昨年度15周年を迎えました。新体制としての第1回目の大会をこの広島で開催できることに、大会委員長として喜びを感じています。本大会のテーマは「ピア・サポートの過去、現在、そして未来へ」です。15年という一区切りを迎え、国内でのピア・サポートの実践も随分広がってきたように思います。ここから実践をさらに高めていくためには、我々が専門性を身につけていくことが求められているといえます。本大会ではピア・サポートのこれからに必要な専門性に結びつくようなワークショップを企画しています。また、口頭発表やシンポジウムを通し、国内でがんばって実践されている先生方や子ども達の熱い姿が皆様のパッションに火をつけることを期待しています。

大会期間中は世界遺産である厳島神社も秋の気配を感じさせ、広島大学のある日本三大酒どころの1つ、西条において「酒祭り」も開催されているなど、一段と広島が活気づく時期でもあります。

第16回総会・研究大会現地実行委員会一同、多くの皆様のご参会を心よりお待ちしております。

日本ピア・サポート学会第16回総会・研究大会 大会委員長
栗原 慎二

- 期 日：2017年10月8日（日）～10月9日（月・祝）
- 主 催：日本ピア・サポート学会 《主管》広島大会実行委員会
- 後 援：日本学校教育相談学会・広島県教育委員会・広島市教育委員会・
広島大学大学院教育学研究科附属教育実践総合センター・
広島子どものこころ支援ネットワーク
- 会 場：広島大学東千田未来創生センター（広島県広島市中区東千田町1-1-89）

総会・大会参加費及び研究発表・ポスター発表

（税込）

	会 員	会員学生	非会員	非会員学生・院生
総会・大会参加費	7,000円	3,000円	8,000円	3,000円

※ 本大会では会員でない方にも本学会の研究活動に関心をもっていただけるよう、会員外特別参加費を設定いたしました。会員の皆様からぜひお近くの方にお声がけ下さい。

10月8日 9:30～12:30 ワークショップ参加／3000円

10月9日 9:15～12:30 シンポジウム参加／3000円

※ 本大会では託児サービスを提供します。託児サービス料金は、0～2歳児は初日1日2千円、3～5歳児は千円二日目はその半額となります。ご希望の方はメールにて大会事務局へお申し込みください。

申込・問い合わせ先（実行委員長 山崎）：akaney@hiroshima-u.ac.jp（*を@に変えて送信してください。）

情報交換会

日時：10月8日（日）18:30～20:30

会場：ホテルグランヴィア広島 3階 天平（てんぴょう）

（税込）

	一般の方	学生・院生
情報交換会参加費	6,500円	4,000円

第16回 総会・研究大会概要

I. プログラム

0日目▶ □10月7日(土)

10:30～	11:00～14:00	13:30～	14:00～17:30	移動	18:30～20:30
常任理事受付	常任理事会	理事受付	理事会		理事懇親会

1日目▶ □10月8日(日)

9:00	9:30～12:30	12:30～13:30	13:30～14:30	14:35～17:30	移動	18:30～20:30
受付	ワークショップ	昼食	総会	研究発表 (分科会)		情報交換会 (グランヴィア広島)

□ ワークショップ 5部会【9:30～12:30】

(注) 第3・4部会は、当学会有資格者限定講座です。第1・2・5・6部会は、どなたでも参加いただけます。

<第1部会 研究論文・実践論文の書き方>

講師：栗原慎二（研究紀要委員長・広島大学大学院）

時代が求めているのは、エビデンス（信頼すべき根拠・証拠）に基づいた実践であり、研究ができる実践家です。研究のノウハウを学び、自分の実践を研究にまとめることで力量UPを図るとともに、ピア・サポートの発展に寄与しませんか。当日は実践のまとめ方の基礎からやっていきます。

<第2部会 国内外のピア・サポート実践－多様な試みの理論と実践を紹介－>

講師：春日井敏之（調査研究委員長・立命館大学）、増田梨花（立命館大学）、池 雅之（高知工科大学）

現代の子ども、青年を取り巻く社会的な状況や抱える課題について触れながらピア・サポート活動の現代的な意義について再確認していきたいと考えています。カナダのブリティッシュコロンビア大学（UBC）における学生による学生・生徒支援の実践、国内の小学校、中学校、高等学校、大学における実践や高大連携、小中連携の特徴的な試みなどについて紹介しながら、交流ができればと考えています。参加者の皆さんの職場で、取り組まれていること、できそうなことについても深めていきましょう。どなたでもご参加ください。

<第3部会 ピア・サポートでの「傾聴」を学ぶ>

講師：高野利雄（資格認定委員長・スクールカウンセラー）

学校でのピア・サポート活動の普及は《支え合える子どもたち》を育てることです。それは《相手の気持ちをくめる子どもたち》ということから始まります。傾聴の態度と技法の指導は、そうした子どもたちを育てるプロセスです。ピア・サポート活動の基礎になることを、私たち自身も身につけていくことを求めつつ、一緒に学び合いたいと思っています。

【対象】ピア・サポートトレーナーを対象としていますが、コーディネーターでも参加することができます。トレーナーの資格更新ポイントになります。

<第4部会 ピア・コーディネーターの果たす役割>

講師：菱田準子（事務局長・立命館大学）

急激に変化する社会において、益々、仲間が仲間を支援するピア・サポートの重要性に着目したいと思います。ピア・コーディネーターにはピア・サポートの実践者とネットワークを形成しつつ、それぞれのフィールドの実態に応じてピア・サポートの理念を具現化する役割が求められています。そのために、コーディネーター自身の生き方が生き生きとしたものでありたいと願っています。そこで、本部会では、ポジティブ心理学のマーティンセリグマン博士が推奨する「PERMA」モデルを紹介します。ピア・コーディネーターの活動を加速化させていきましょう。

【対象】ピア・サポートコーディネーターを対象としていますが、次年度にコーディネーターを受講したいと考えているトレーナーでも参加することができます。コーディネーターの資格更新ポイントになります。

<第5部会 ピア・サポート実践に生かすアセスメント入門 -学校適応感尺度「アセス」の使い方->

講師：中林浩子（研修委員長・大形中学校）、矢代幸子（千葉工業高校）、大西由美（岡山大安寺中等教育学校）

ピア・サポートプログラムを導入するにあたり、学校やコミュニティが抱える課題や多面的な実態把握に基づいたニーズをわかりやすく示すことができれば、導入への理解と協力を得やすくなります。また、ピア・サポートプログラムを実践する上で、どのように仮説を立て（企画）、実践し（実践）、効果を明らかにするか（評価）にアセスメントは欠くことのできない重要なものです。本講座では、そのアセスメントの一つ、標準テキスト Version3 で取り上げた「学校適応感尺度アセス」の使い方について演習を通して解説します。サンプルデータを使いますが、可能な方には、事前にご自分の学校やクラスでアセスを実施していただき、そのデータを使って更に理解や学びが深められるように、アセス実施に関する事前のサポートも提供していきます。

<第6部会 ピア・サポートの「感情」をどう扱うか>

講師：山田洋平（島根県立大学短期大学）

ピア・サポートを実践する多くの先生は、ピア・サポートを通して児童生徒（あるいは学生）の思いやり行動が増えることを期待しています。そのため、サポート活動前のトレーニング段階では、困っている人への声かけなどの行動の仕方を学びます。しかし、それだけでは思いやり行動は増えません。むしろ、適切な他者の感情理解や共感性の育成が思いやり行動を増やすためには重要なポイントとなります。本ワークショップでは、他者の感情理解や共感性を含む「感情」をどのように育成するかについて、演習を含めて説明します。

□ 口頭発表・ポスター発表【14:35～17:30】

	座長	部屋	①14:35～15:15	②15:20～16:00	③16:05～16:45	④16:50～17:30
分科会 A (認知・感情)	池島徳大	M301	「小学生・中学生における反社会的行動・非社会的行動の担任としての介入-愛着形成の視点から-」 江藤悠・森絵梨菜	「身体的不器用さ自己評価尺度の検討-ピア・グループの支援の方向性-」 高橋哲也	「新任教諭を対象にしたピア・サポートトレーニングによる不安の変化（第一報）」 小袋伸枝・松田東子 竹田美保	「Well-being（幸福感）に寄与するピア・サポート研究」 菱田準子
分科会 B (小学校)	懸川武史	M302	「互いに認め合い主体的に学び合う児童の育成」 関崎純也	「授業中の適応行動の増加を目的としたピア・サポート実践」 松山康成	「小学1年生におけるピア・サポートを活用した学級作りに関する研究」 西永円	「道徳的価値について考えを深められることができる児童の育成-ピア・サポートモデルによる道徳的活動を取り入れて-」 懸川武史・音山若穂・橋本麻里香
分科会 C (中学・高校)	山田日吉	M201	「教育委員会と連携した P ² EER（出会いと回復のプログラム）の実践とその効果」 福井里江・小野雅子・赤沢大史・大森美湖	「ピア・サポートプログラムの長期的実践が男子高校生の対人関係能力、自尊心、精神的健康度へ及ぼす影響」 近藤光代・石川健司・坂井誠・大沢功	「人権教育推進校としての7年間の取り組みと生徒の変容」 吉田ゆかり	「オンリーワン 夢に向かって」 小林勝則
分科会 D (大学)	池雅之	M202	「大学生が地域の高齢者を支えるピア・サポートの実践研究」 松下健	「植草学園大学ピア・サポート研修の広がり -どこでもピア・サポート-」 古川繁子・栗原ひとみ・大木みわ	「大学におけるピア・サポート実践活動について」 池雅之・伊藤彰悟・守谷友秀	
分科会 E (高大連携)	春日井俊之	M203	「『高大連携プロジェクト』におけるピア・サポートの実践①」 堀内悠・上田捷悟・小林由季・彦坂茉莉・南大貴・増田梨花	「『高大連携プロジェクト』におけるピア・サポートの実践②」 上田捷悟・小林由季・彦坂茉莉・南大貴・増田梨花	「高大連携プロジェクトにおける青年心理の一考察」 西川大輔・河美善	

分科会 F (地域)	森川澄男	M204	「支援者同士の疲弊感の軽減につながるケア会議の研究」 升田智子	「日本におけるピア・サポート活動の展望の考察」 彦坂茉莉	「包括的生徒指導研修の効果に関する質的研究」 中林浩子・沖林洋平・栗原慎二	
---------------	------	------	------------------------------------	---------------------------------	--	--

□ 情報交換会（懇親会）【18:30～20:30】

情報交換会（懇親会）はどなたでもご参加いただけます。交流を深めるためにも、是非ご参加ください。
会場は広島駅直結の「ホテルグランヴィア広島」です。広島内外からも大変アクセスの良い会場です。送迎バスはご用意がありませんが、大会会場の広島大学未来創生センターから、市電・バスで1本です。

日時：10月8日（日）18時30分～20時30分

会場：ホテルグランヴィア広島

※ 会場までは参加者ご自身でのご移動をお願いいたします。貸切バス等の手配はありません。

【市電の場合】広島電鉄「日赤病院前」電停から1番線「広島駅」行電車で終点「広島駅」（約25分）

【バスの場合】広島バス「日赤病院前」バス停から50番系統「広島駅」行で終点「広島駅」（約15分）

【タクシーの場合】会場からホテルグランヴィア広島まで約15分

2日目▶□ 10月9日（月）

第16回広島大会記念シンポジウム「ピア・サポートの過去、現在、そして未来へ」

9:00	9:15～10:35		10:50～11:25	11:30～12:30	12:30～12:40
受付	第一部 実践発表 阿品台東小学校 総社市教育委員会 クラーク国際記念 高等学校 NPO 法人わかば会 宇佐・高田更正保護 サポートセンター (計5実践)	休憩 (10分)	コンサート Soul Camp	第二部 公開ディスカッション 「ピアサポートの未来」 「PSのこれまで」：森川澄男 「PSの現在」：山中榮輔 指定討論者：池島徳大 指定討論者：石井眞治 司会：栗原慎二	閉会行事

□ 実践発表

現在、日本で取り組まれている先駆的で挑戦的な実践を、実際に取り組んでいるピア・サポーターの参加や、映像の紹介等、活動のデモンストレーション等を通じて紹介します。5つの実践発表を予定しています。

□ コンサート

Soul Camp。沖縄出身のJ-POPグループで現在も沖縄を中心に活躍中。めざましテレビでも流されていた“BIG MAMA”や、いじめをテーマにした“ふたば”といった曲があります。今回のためにピアにかかわる新曲も作ってくれています。大会記念シンポジウムでは自分自身が いじめられた体験を基にした力強いメッセージと、歌のプレゼントをもらえます。Soul Campの曲はYou Tube等でも聴くことができます。

□ 公開ディスカッション

これまでの日本のピア・サポートのすべてをご存じの前会長森川澄男先生から、「PSのこれまで」について語っていただきます。また、元JFEスチール初代西日本製鉄所長で、現在は岡山県総社市教育長の山中榮輔教育長に、「PSの現在」と題して総社市におけるピア・サポートを柱とした教育実践についてお話をさせていただきます。このお二人のお話や第一部の実践発表題材として、池島徳大現ピア・サポート学会会長と比治山大学学長・元広島市教育委員長の石井眞治先生に加わっていただき、「ピア・サポートの未来」について公開ディスカッションをしていただきます。

Ⅱ. 会場案内：広島大学東千田未来創生センター（広島県広島市中区東千田町 1-1-89）

1. 各部署

- ①受付・案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1F 玄関ホール（10月8日総会以降は 4F 大講義室前）
- ②クローク・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ミーティングルーム 4-6
- ③書籍販売・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4F コミュニケーションスペース
- ④休憩所／昼食会場・・・・・・・・・・・・・・・・ 1F ラウンジ／4 階大講義室
- ⑤弁当引き換え所・・・・・・・・・・・・・・・・ 1F 玄関ホール
- ⑥大会本部・・・・・・・・・・・・・・・・・・ プロジェクトルーム 4-5
- ⑦来賓・講師控え室・・・・・・・・・・・・・・・・ ミーティングルーム 4-3・4-4・4-5
- ⑧保育室・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ミーティングルーム 4-2
- ⑨スタッフルーム・・・・・・・・・・・・・・・・ ミーティングルーム 4-1

2. ワークショップ会場

- ①ワークショップ第 1 部会・・・・・・・・・・・・・・ 講義室 M302
- ②ワークショップ第 2 部会・・・・・・・・・・・・・・ 講義室 M303
- ③ワークショップ第 3 部会・・・・・・・・・・・・・・ 講義室 M301
- ④ワークショップ第 4 部会・・・・・・・・・・・・・・ 講義室 M204
- ⑤ワークショップ第 5 部会・・・・・・・・・・・・・・ 講義室 M203
- ⑥ワークショップ第 6 部会・・・・・・・・・・・・・・ 講義室 M202

3. 総会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4F 大講義室

4. 研究発表（口頭発表）・ポスター発表

- ①研究発表（口頭発表）A（発達・愛着）・・・・・・・・ 講義室 M302
- ②研究発表（口頭発表）B（小学校）・・・・・・・・ 講義室 M303
- ③研究発表（口頭発表）C（中学校・高校）・・・・・・ 講義室 M301
- ④研究発表（口頭発表）D（大学）・・・・・・・・ 講義室 M203
- ⑤研究発表（口頭発表）E（高大連携）・・・・・・ 講義室 M204
- ⑥研究発表（口頭発表）F（地域）・・・・・・・・ 講義室 M202
- ⑦実践発表資料公開・・・・・・・・・・・・・・ グループワーク室

5. 情報交換会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 会場：ホテルグランヴィア広島

6. 第 16 回大会記念シンポジウム・閉会行事・・・・・・・・ 4F 大講義室

